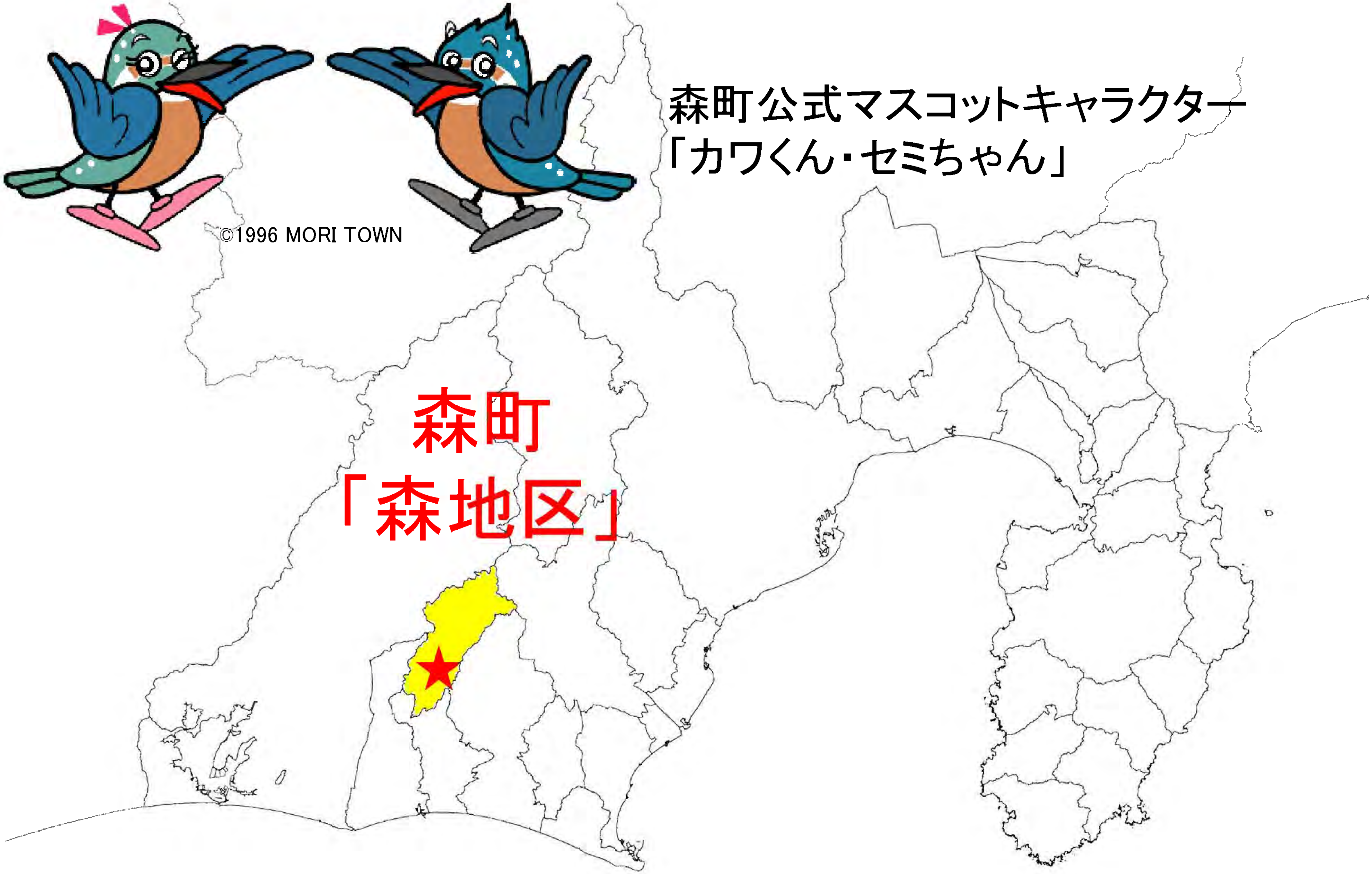
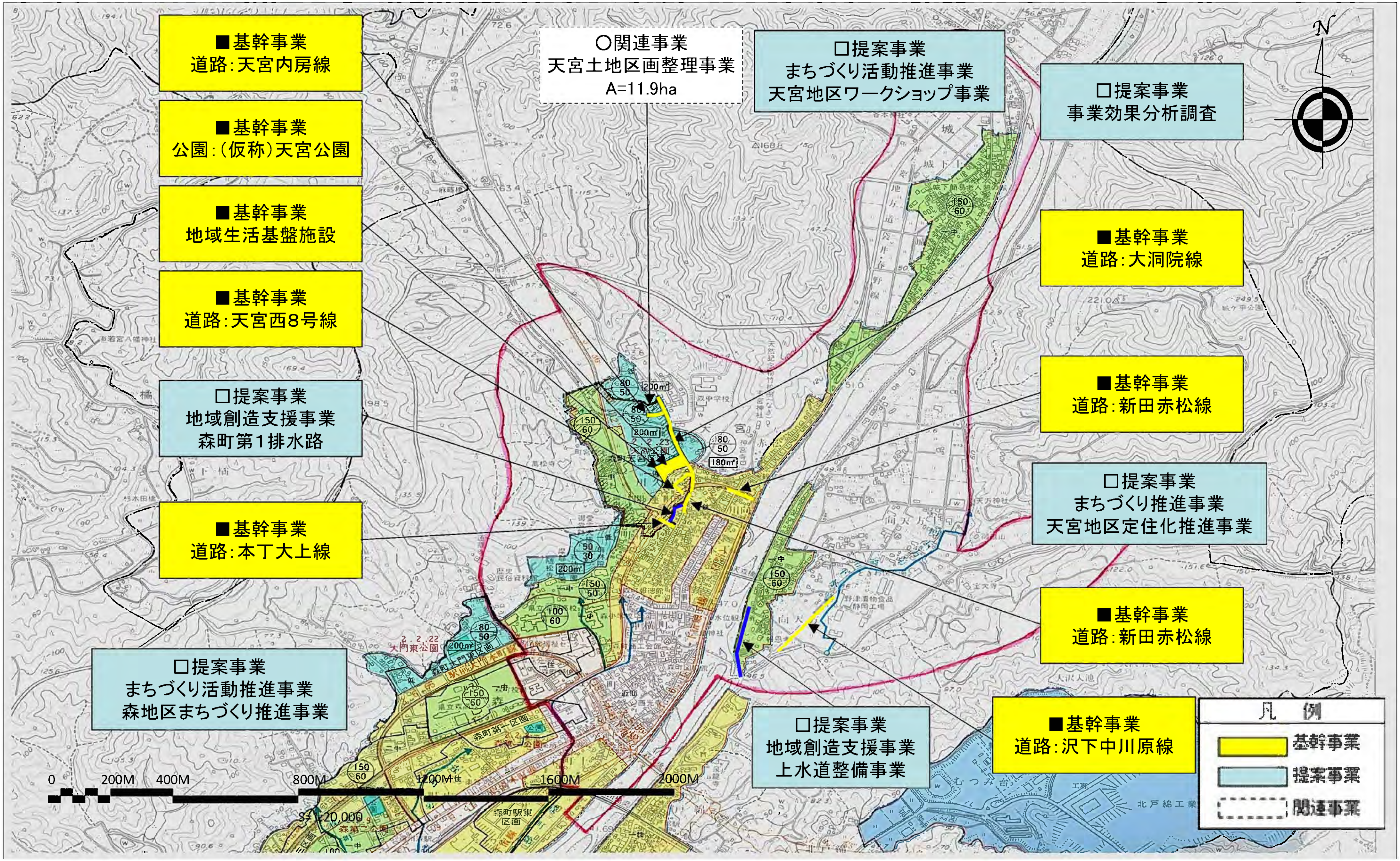
森地区都市再生整備計画の概要



森町公式マスコットキャラクター
「カワくん・セミちゃん」

整備方針概要図


■基幹事業
道路：天宮内房線
■基幹事業
公園：（仮称）天宮公園
■基幹事業
地域生活基盤施設
■基幹事業
道路：天宮西8号線
□提案事業
地域創造支援事業
森町第1排水路
■基幹事業
道路：本丁大上線
□提案事業
まちづくり活動推進事業
森地区まちづくり推進事業
○関連事業
天宮土地区画整理事業
A=11.9ha
□提案事業
まちづくり活動推進事業
天宮地区ワークショップ事業
□提案事業
事業効果分析調査
■基幹事業
道路：大洞院線
■基幹事業
道路：新田赤松線
□提案事業
まちづくり推進事業
天宮地区定住化推進事業
■基幹事業
道路：新田赤松線
■基幹事業
道路：沢下中川原線
□提案事業
地域創造支援事業
上水道整備事業
凡 例
基幹事業
提案事業
関連事業
0
200M
400M
800M
1200M
1600M
2000M
S=1:20,000
N

天宮土地区画整理事業地内の事業

- 天宮公園（3,600㎡）
- 天宮調整池
- 街区道路
- 6M−10 町道本丁大上線
- 6M−19 町道天宮内房線
- 6M−11 町道天宮西8号線
- 9M−1　町道大洞院線
- 7M−1　町道新田赤松線（川久保地内）
- 4M−5　森町第一排水路

基幹事業（公園・地域生活基盤施設）

- 天宮公園（3,600m^2）
- 天宮調整池（地域生活基盤施設）

整備前

平成26年10月1日供用開始

整備後（全体）

整備後（遊具）

基幹事業（道路）

●町道　沢下中川原線

整備後（拡幅改良工事）

●町道　本丁大上線

整備後（街区道路築造工事）

●町道　天宮内房線

整備後（街区道路築造工事）

●町道　天宮西8号線

整備後（街区道路築造工事）

●町道　大洞院線

整備後（舗装工事）

●町道　新田赤松線

整備後（舗装工事）

提案事業

●地域創造支援事業　排水路整備事業　森町第一排水路

整備後

●地域創造支援事業　上水道整備事業　向天方地区

整備後（水道管耐震化工事）

みんなで参加する元気なまちづくりを目指す

●（仮称）天宮公園整備ワークショップ

【実施頻度】 全3回

【実施時期】

平成23年9月～平成23年11月

【実施結果】

全体討議で、まず一番コストのかかるトイレについて話し合い、トイレは1ブースのものを1箇所設置し、遊具や休憩施設を充実させる案で合意した。

みんなで参加する元気なまちづくりを目指す

●森地区まちづくりの会

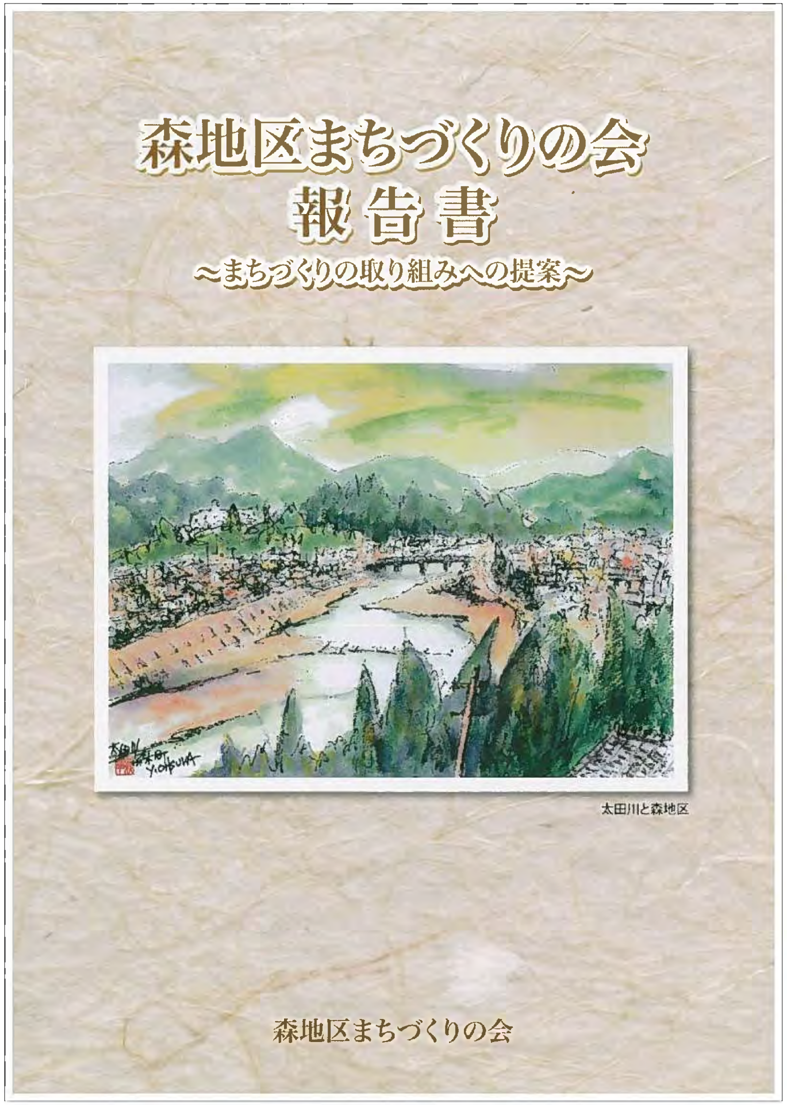
【実施頻度】 全17回

【実施時期】 平成23年～平成26年

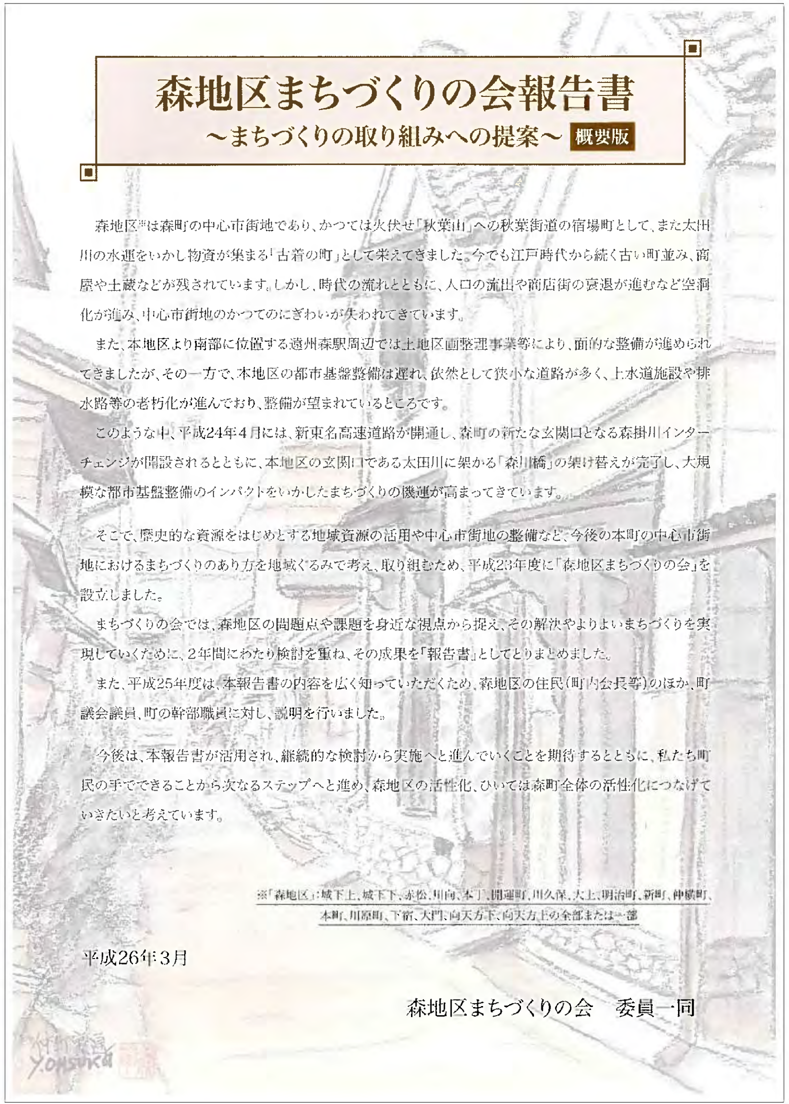
【実施結果】

「道路・交通」「防災」「歴史・文化・景観」「観光・産業（産業）」の様々な視点からまちづくりの方向性・取組を検討し、保全・活用すべき地域資源を抽出し、（都）新田赤松線の整備必要性や地区内の改良が必要な道路の抽出を行った。

森地区まちづくりの会報告書



製本版　住民説明会等で配布



森地区まちづくりの会報告書
～まちづくりの取り組みへの提案～ 概要版

森地区※は森町の中心市街地であり、かつては火伏せ「秋葉山」への秋葉街道の宿場町として、また太田川の水運をいかし物資が集まる「古着の町」として栄えてきました。今でも江戸時代から続く古い町並み、商屋や土蔵などが残されています。しかし、時代の流れとともに、人口の流出や商店街の衰退が進むなど空洞化が進み、中心市街地のかつてのにぎわいが失われてきています。

また、本地区より南部に位置する遠州森駅周辺では土地区画整理事業等により、面的な整備が進められてきましたが、その一方で、本地区の都市基盤整備は遅れ、依然として狭小な道路が多く、上水道施設や排水路等の老朽化が進んでおり、整備が望まれているところです。

このような中、平成24年4月には、新東名高速道路が開通し、森町の新たな玄関口となる森掛川インターチェンジが開設されるとともに、本地区の玄関口である太田川に架かる「森川橋」の架け替えが完了し、大規模な都市基盤整備のインパクトをいかしたまちづくりの機運が高まってきています。

そこで、歴史的な資源をはじめとする地域資源の活用や中心市街地の整備など、今後の本町の中心市街地におけるまちづくりのあり方を地域ぐるみで考え、取り組むため、平成23年度に「森地区まちづくりの会」を設立しました。

まちづくりの会では、森地区の問題点や課題を身近な視点から捉え、その解決やよりよいまちづくりを実現していくために、2年間にわたり検討を重ね、その成果を「報告書」としてとりまとめました。

また、平成25年度は、本報告書の内容を広く知っていただくため、森地区の住民（町内会長等）のほか、町議会議員、町の幹部職員に対し、説明を行いました。

今後は、本報告書が活用され、継続的な検討から実施へと進んでいくことを期待するとともに、私たち町民の手でできることから次なるステップへと進め、森地区の活性化、ひいては森町全体の活性化につなげていきたいと考えています。

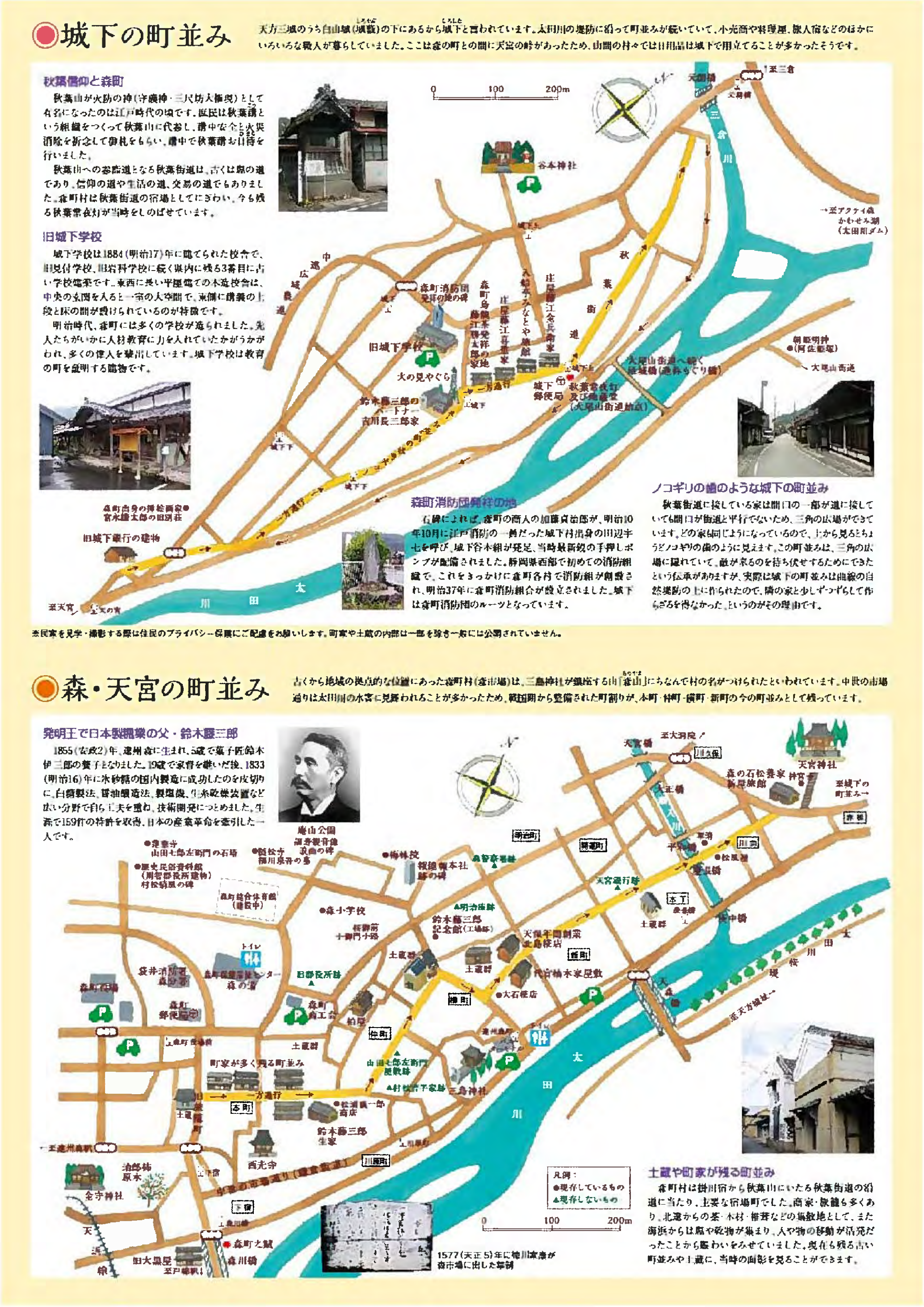
※「森地区」：城下上、城下下、赤松、川向、本丁、開運町、川久保、大上、明治町、新町、仲横町、本町、川原町、下宿、大門、向天方下、向天方上の全部または一部

平成26年3月

森地区まちづくりの会　委員一同

概要版　森地区の全世帯（約2,300世帯）に配布

森町散策マップ



30,000部印刷　観光案内所
新東名遠州森町PA等で配布